

- 問1 秋田県にあり、日本最大級の広さを持つ稲作が盛んな平野を何という？
- 問2 青森県が全国で最も多く生産しており、冷涼な気候をいかして栽培されている果物を何という？
- 問3 長い歴史の中で培われ、その土地の技法や文化を伝承している工芸品をまとめて何という？
- 問4 岩手県の内陸部に広がる北上盆地などで盛んに行われている、米を栽培する農業を何という？
- 問5 岩手県で伝統的な技術を受け継いで作られている、古くから全国的に有名な工芸品を何という？
- 問6 東北地方の中央を南北に走り、日本海側と太平洋側の気候を分けている山脈を何という？
- 問7 宮城県の北部など、入り組んだ海岸線が特徴的で養殖業が盛んな地形を何という？
- 問8 青森県と北海道の間にある、津軽半島と下北半島に挟まれた海域を何という？
- 問9 青森県のねぶた祭などが含まれる、本州の北側にある地域を何という？
- 問10 奥羽山脈の東側に並ぶ、山に囲まれた平坦な土地を何という？
- 問11 福島県の中央部を南北に走る、地域間の気候の違いを生み出している高地を何という？
- 問12 東北地方の夏の冷涼な風による冷害被害を抑えるために開発された、低温でも育ちやすい稲の品種を何という？
- 問13 奥羽山脈が冬に日本海側からくる風を遮ることで、気候の違いを生む要因となる風を何という？
- 問14 三陸海岸の沖合で、寒流と暖流がぶつかり合うことで魚が集まりやすくなっている場所を何という？
- 問15 山形県で、盆地特有の気温差を生かしてさくらんぼや西洋なしなどを育てる農業を何という？
- 問16 地震などの影響で海底が隆起や沈降し、海水が急激に押し寄せる自然災害を何という？
- 問17 三陸海岸に特徴的に見られる、山地が海に沈んで複雑に入り組んだ地形を何という？
- 問18 宮城県の平野部で盛んに栽培されている、かつて有名だった米の品種を何という？
- 問19 東北地方を南北に縦断するように走り、この地域の地形を分ける背骨のような役割を果たす山脈を何という？
- 問20 やませが長時間吹き続けることで気温が上がらず、農作物の成長が妨げられる被害を何という？
- 問21 宮城県の県庁所在地であり、東北地方の政治・経済・文化の中心となっている都市を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 秋田平野	秋田平野は、日本でも有数の面積を誇る平野です。広々とした土地と豊富な水資源に恵まれているため、古くから稲作が非常に盛んで、秋田県を代表する農業地帯となっています。
問2	答え りんご	青森県は日本一のりんご生産量を誇ります。冷涼で日照時間が十分な気候が、甘くておいしい果実を育てるのに適しており、品種改良も盛んです。
問3	答え 伝統的工芸品	伝統的工芸品とは、主として日常生活で使用される器具や道具で、製造の過程が昔からの技術・技法によって行われているものです。ねぶた祭に使われるねぶたの製作技術なども、一つの形として地域の文化継承に関わっています。これらは単なる道具ではなく、その地域の歴史や人々の知恵が詰まった大切な文化財です。
問4	答え 稲作	この地域では、広大な水田を利用して稲作が盛んに行われています。また、稲作とあわせて肉用牛などの畜産を組み合わせた複合経営も広く行われています。
問5	答え 南部鉄器	南部鉄器は、鉄鋳物による工芸品で、耐久性が高く、使い込むほどに味わいが出るのが特徴です。その実用性と芸術性の高さから、全国的に高く評価されています。
問6	答え 奥羽山脈	奥羽山脈は、青森県から福島県まで東北地方の中央部を南北に走っています。この山脈が高い壁の役割を果たすため、西側と東側で天候や積雪量に大きな違いが生まれます。
問7	答え リアス海岸	リアス海岸は、入り組んだ湾が続いているため波が穏やかで、栄養分が豊富な海水が入ってくるという特徴があります。この環境を活かして、カキやホタテなどの養殖業が非常に活発です。
問8	答え 津軽海峡	津軽海峡は日本海と太平洋を結ぶ海域です。青森県側では冬の季節風の影響を強く受け、豪雪地帯となる特徴があります。
問9	答え 東北地方	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県からなる地域です。四季の変化がはっきりしており、特に冬は寒さが厳しい一方で、豊かな自然や伝統行事が数多く残されています。ねぶた祭のような大規模な祭りは、各県が協力してこの地域の魅力を高める重要な資源となっています。
問10	答え 盆地	周囲を高い山に囲まれた平坦な地形を「盆地」と呼びます。東北地方の盆地は、海からの湿った風が遮られるため、夏は気温が非常に上がりやすく、冬は放射冷却によって冷え込みが厳しくなります。この大きな気温差を活かして、果樹栽培などが盛んに行われています。
問11	答え 阿武隈高地	「阿武隈高地」は、福島県の中央を南北に縦断する山岳地帯です。これが壁のような役割を果たすことで、東側の浜通りと内陸の中通りとで気温や天候に差が生まれ、県内の多様な風土を形作っています。
問12	答え 耐冷品種	耐冷品種とは、低い気温でも生育が阻害されにくく、実を結びやすいように品種改良された稲のことです。気象の変化を受け流すための科学的な技術開発の成果として知られています。
問13	答え 季節風	冬には、シベリア方面から日本海を渡って湿った空気を運ぶ「季節風」が吹きます。この風が東北地方の奥羽山脈にぶつかると、日本海側には大雪が降り、山脈の東側である太平洋側には乾燥した風が吹き抜けます。これにより、東西で雪の降り方や気温に大きな違いが生じます。
問14	答え 潮目	この二つの海流がぶつかる境界域を「潮目（しおめ）」や「潮境」と呼びます。異なる海流が混ざり合うことで海水の上下運動が起こり、魚の餌となる栄養分が供給されるため、プランクトンが大量に発生します。これを求めて多くの魚が集まるため、世界的に見ても非常に豊かな好漁場となっています。
問15	答え 果樹栽培	この地形上の特徴を活かし、寒暖差が必要な果物の生産が非常に盛んです。特に、さくらんぼの生産量は全国でもトップクラスを誇り、西洋なしなど品質の高い果物が全国に出荷されています。
問16	答え 津波	津波は、地震による海底の地殻変動によって引き起こされる、非常に波長の長い波です。陸地に近づくにつれて波の高さが急激に増し、強大なエネルギーで海岸沿いの集落や施設を飲み込みます。特に三陸海岸のように複雑な入り江を持つ地形では、津波の高さが増幅されやすい性質があります。
問17	答え リアス海岸	リアス海岸は、海岸線が非常に複雑に入り組んでいて出入りが多いのが特徴です。そのため、波が穏やかな入り江が多く、天然の良港として古くから漁業や養殖業が盛んに行われてきました。
問18	答え ササニシキ	ササニシキは、宮城県を代表する米の品種として一時期全国的な人気を博しました。あっさりとした食感と適度な粘りが特徴で、寿司店などで好まれて使われていました。
問19	答え 奥羽山脈	「奥羽山脈」は、東北地方の中央を南北に走る山脈で、その長さから「東北の背骨」と呼ばれます。高い山々が壁となって日本海側の湿った空気や太平洋側の空気を遮るため、東西で異なる天候や気温をもたらします。
問20	答え 冷害	初夏に吹き込む冷たい風「やませ」の影響で夏の気温が低く推移すると、農作物が十分に育たない「冷害」が発生します。これにより、収穫量が減るなどの農業上の大きな問題が生じます。
問21	答え 仙台市	仙台市は宮城県の県庁所在地であり、東北地方で最も人口が多い都市です。多くの支社や官公庁が集まっており、東北全体のサービスや産業の中心地としての役割を果たしています。